

第19号目次

尾池 和夫	紀要一九号の発行にあたって		
作品研究報告			
神谷 徹	虎ノ門ヒルズ コミッションワーク	6	
神谷 徹	「Why we draw」国立台北芸術大学との交流展	8	
東島 毅	みずの自画像 Water Self-Portraits	10	
高木 光司	「問」	12	
久田 多恵	水面染めの試みⅡ	14	
八幡 はるみ	「とさわ2015」	16	
西村 充	slab works	18	
藤原 裕三	WORKS	20	
丸井 栄一	長音の視覚化「タン」	22	
関本 徹生	セキモトのカオスのカオス記憶と記録／関本徹生展	24	
中山 博喜	真珠かがやきプロジェクト ―産学連携によるブランド構築実践―	26	
小林 秀加	春の息	28	
京都造形芸術大学芸術館	「江上波夫のシルクロード」	30	
京都造形芸術大学芸術館	「海景」FISHING	32	
鷹木 朗	―左側に―	34	
森田 実穂	「2014年の絵」	36	
奈佐 祥正	京の七夕プロジェクト／5年目の新たな試み／	38	
顧 亜婷	「恋」	40	
研究論文			
河田 学	十八世紀イギリス小説におけるパラテキストの検討 ―フィクション論的観点から―	44	
今村 信隆	「クレイヴの奥方」の肖像 ―作中の絵画作品と 一七世紀のイメージ論―	57	
上村 博	場所の病、または作品の外について	70	
菅原 真弓	豊原国周研究／大首絵の構図を中心に／	80	
研究ノート			
牛田 あや美	雑誌に描かれた「写真小説」 ―戦時下の漫画と映画―	100	
河野 三男	欧文活字書体選択の根拠を探る 前編 実践技術書における解説	109	
廻 はるよ	ポストモダン期のデザインにおける 意味生成をめぐる問題について	125	
松井 利夫・上田 篤・中村 裕太	循環型もの作りのモデル形成と その価値環境についての研究 ―小豆島の食文化の検証と器の制作プロセスの開発―	131	
鷹木 朗	ドローイングとペインティングの透き間に ―絵画をめぐる時間を考えることから―	137	
野村 朋弘	松尾祭再興についての基礎的研究	148	
小川 豊子	「鞍馬の火祭り」における音の風景 ―火祭りの音楽・音、人の動き、祭りへの人々の営み―	155	
調査報告書			
岡本 康明	京都造形芸術大学芸術館 ―シルクロードコレクション調査報告―	176	